



参加費
無料

千葉県市川市 様



栃木県日光市 様



広島県尾道市 様

庁舎機能の新しい視点と課題

～経験自治体からのエール～

庁舎機能において、新たに行政手続きのデジタル化や新型コロナウイルス感染症対策に付随する業務など、自治体が検討すべき課題は山積しています。新庁舎建設に携わられた自治体職員や自治体をサポート支援する有識者より、実際の施策や工夫、自治体ならではの苦労された点などをご紹介します。

日時：10月19日（火） 13：30～16：40

定員：200名 締切：当日13:00まで

参加方法：YouTube 配信致します。(限定公開)

インターネットに接続したPCやスマートフォンでご視聴いただけます。

申込URL：<https://iam.movabletype.io/seminar.html>

もしくはQRコードから

セミナー前日に、ご登録いただいたメールアドレスにオンラインURLをお送りします。



主催：一般財団法人行政管理研究センター 協賛：株式会社オカムラ

問い合わせ先：自治体職員向けセミナー事務局

✉ wkstseminar@iam.or.jp

10月19日 タイムテーブル

13:30～13:35 注意事項説明

13:35～13:40 ご挨拶：一般財団法人行政管理研究センター
理事長 渡会 修

13:40～14:20 『市川市のDXが目指すもの

価値創出を実現する市役所の変革』



千葉県市川市 情報政策部 部長 **稲葉 清孝 氏**

新庁舎建設を機に、デジタル技術を活用し新しい価値創造を目指した市川市。DX推進を通して、地域の課題を解決する策を共に考え、挑戦する気持ちを常に持ち続ける職員マインドの醸成に取り組みられました。その表れである、「ワンストップサービス」の取り組みや工夫、今後の課題なども共有いただきます。

14:20～15:00 『Society5.0に相応しい行政サービスとは』



KUコンサルティング **高橋 邦夫 氏**

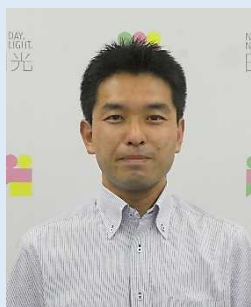
総務省地域情報化アドバイザー・総務省テレワークマネージャー
電子自治体エバンジェリスト

豊島区役所に29年在籍、新庁舎建設時にはCISO（最高情報セキュリティ責任者）、情報管理課長として、働き方改革を実現し、総務省から表彰を受ける。現在は、電子自治体エバンジェリストとして、多くの自治体に研修やコンサルティングを手掛けられており、ニューノーマルの視点から、将来を見据えた行政サービス・庁舎整備のあり方をアドバイスいただきます。

15:00～15:10

休 憩

15:10～15:50 『新庁舎建設と移転 ～新庁舎移転における諸課題の検討～』



栃木県日光市 財務部 資産経営課 資産管理係 副主幹
小林 幸広 氏

「新しい日光ブランドを創出するまちづくりの拠点」をコンセプトに、伝統と日光らしさを表現し市民の活気あふれる拠点づくりを目指し、平成31年1月に開庁。庁舎建設と並行し進める備品整備や庁舎移転業務において直面した課題や工夫、開庁から2年を経過した庁舎運営の現況など、新庁舎整備担当として計画から携わられた職員の生の声をお伝えいただきます。

15:50～16:30 “変化する自治体”これからの庁舎づくり

『市民が集い憩える空間と市庁舎との共存』



広島県尾道市 主幹（庁舎周辺整備担当）兼 総務部総務課
庶務係長事務取扱 **藤原 比小枝 氏**

行政や議会としての役割だけでなく、窓口に用事が無くても遊びに来たくなるような新庁舎。隣接する尾道水道の景観を活用し、新庁舎の一部を休日や夜間に開放することで、市民が集い、尾道らしさを体感できる新しい拠点となっています。市民交流・活動の場としての市庁舎の活用方法、空間づくりや庁舎整備の特徴についてご紹介いただきます。

16:30～16:40 終了挨拶